



立正佼成会ニューヨーク教会

320 East 39th Street, New York, NY 10016 TEL: (212) 867-5677

E-mail address: koseiny@aol.com, Website : <http://rk-ny.org>

ニュースレター2021年 3月号

皆様こんにちは！

寒さがまだ続きますがいかがお過ごしでしょうか。



コロナ感染症に対し世界各地でワクチンの接種がようやく始まり、医療関係者、高齢者を中心に接種が進められ全体に行き渡るにはおそらく年内近くかかってしまいそうです。

これまでに多くの方々が尊い命をなくされ、その中には有名人の名前も知らされています。

まずもってその尊い御霊にご冥福をお祈り申し上げます。

そして、現在入院加療中の方々さらに療養中の皆様の早期回復を心より祈念いたします。

さらに医療関係者の献身的な働き、日常の生活を支えて下さっているエッセンシャルワーカーの皆様への感謝を申し上げます。

今月はいよいよ春を迎える月で、立正佼成会が創立され83周年を祝う月でもあります。

1938年3月5日に立正佼成会は東京・杉並でその産声を上げました。

開祖さま、脇祖さまと30名からの信者で発足し、その本部を開祖さまのご自宅の2階に置きました。それは開祖さま32歳の時でした。

当時をふりかえり開祖さまはこう述べられています。

「30人からの少人数で会を立てようとした私どもは、大きな会にしようというような野望は持っていませんでした。ただありがたくてやむにやまれぬ気持で仏さまのみ教えに帰依させていただきたいという一語につきると思います」

「<立正>とは、この世に正法、すなわち『法華経』の教えをうち立てる、と言う意味、と、

佼成(交成)の<佼>は信仰的な交わりと、信者の和の交流、<成>は人格の完成、成仏という理想を掲げたもので、これを機会に名を「日敬」、長沼さんも「妙佼」と改名しました。」

開祖さまはいつも大きな志を忘れず心に描いてこられました。

立正佼成会を創設される大きな願いは、「一人でも多くの方にこの教え「法華経」に触れていただき幸せになって頂きたい」という思いからでした。

そしてもう一つはいつも目の前のご縁を大切にされたことだと思います。

それは自分にとって都合の良いご縁「順化」、都合の良いご縁「逆化」であっても目をそらさず出会いを大切にされてこられたことです。

創立記念を祝うとともにいま一度その意義をふりかえりたく思います。

話変わって、大宇宙に目を転じてみたとき私たちの地球は太陽系の一つで銀河星雲のなかにあります。

この宇宙には星雲が何千、何万と存在していますが、アメリカの研究者がその銀河を調べたところ絶えず変化し発展しているもの、消滅に向かうものが数多くあり私たちの銀河星雲はとても安定した状態で存在し、数えられるもので同様の物は6つしか見つからなかったといえます。

その理由としてこの銀河星雲は宇宙の中心から離れた辺境の存在であり他の星雲との接触が無く安定してきたとのことです。しかし最近の研究では100億年前に他の星雲との激突があったという証が見つかり、今もその動きが一部残っているとのことです。しかし衝突後の100億年の間に何事も起きず安定が保たれてきたことは奇跡的なことです。

さらにその研究ではおよそ20億年後にマゼランと呼ばれる星雲との衝突の可能性があるかと予測されます。もし衝突が起きるとどうなるかとの予測に安定した銀河星雲の運行に変化が起きてしまうか、あるいは太陽系が銀河星雲からはじきとばされた存在になってしまうとのことです。

100億年、20億年という途方もない時間のように思われますが大宇宙の動きからすればほんの一瞬のことかもしれません。

お釈迦様はこの宇宙を貫く真理をお悟りになりました。その中で私たちはどう生きれば良いかをお説き下さいました。そしてその最も語りたかった真意が大乗運動を通じこの「法華経」に示され長い歴史を経て今日に至っています。開祖さまは法華経との出会いを通して、この教えこそ万人をお救いし、世の中を平和に導くことが出来るとの確信から立正佼成会を創立され、わたしたちにやさしく法華経の精神、仏様のご本懐をお示しくださいました。

科学、技術が発達した今日ですが、まだ分からないこともたくさんある中でこの世の真の成り立ち、真の生き方を求める人々に良きご縁となれますよう、惜しみない関りを持たせていただきましょう。それが創立の意義、精神につながるものと思います。

合掌

RKNY 畠山友利

